

氏名	丸山優	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1999年千葉大学看護学部卒業、2004年千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2017年順天堂大学医療看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助手、2012年同講師、2018年同准教授				
所属学会（役職）	日本老年看護学会（理事）、日本認知症ケア学会（代議員）、日本看護科学学会、日本看護教育学会、千葉看護学会、プライマリケア学会、日本保健医療福祉連携教育学会、S P U学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	看護判断のための気づきとアセスメントー老年看護ー	共著	あり	中央法規出版、全217ページ、担当第2部第2章67-101	湯浅美千代編、島田広美、丸山優、杉山智子、佐瀬真粧美、東森由香、島田美紀代 他	2022.5
2	新しいIPWを学ぶ-利用者地域とともに展開する保健医療福祉連携-	共著	あり	中央法規出版、全288ページ、担当第3章第1・3節44-53	埼玉県立大学編	2022.4
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	急性期病院に入院する高齢患者の身体活動の促進を目指したプログラムに関する文献検討ー本邦における報告に焦点をあててー	共同		日本老年看護学会第27回学術集会（Web）	丸山優、畔上光代 水間夏子 國澤尚子 大塚真理子	2022.6
2	認知症高齢者と家族の長期療養を専門職や住民で支える研修活動の実装と評価ーA町における2018年から2021年の取り組みから	共同		日本老年看護学会第27回学術集会（Web）	沢田淳子、出貝裕子、中込沙織、成澤健、徳永しほ、桂晶子、萩原健、丸山優、國澤尚子、畔上光代、大塚真理子	2022.6
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	なぜ？どうして？今さら聞けないケアの学び直し（入浴・清拭）	単著		介護人材20（1）16-19	丸山優	2023.3
2	令和3年度 基盤強化推進プロジェクト 老年看護実践・教育の挑戦的取り組み事例の集積	共著		老年看護学27（1）	三重野英子、諏訪さゆり、丸山優、島田美紀代、西村知子、立原怜、高原昭、山本恵子	2022.7
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			高齢入院患者のmobilityを促進する急性治療期の看護実践プロトコルの開発	研究代表者	2021.4～2024.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			高齢者の外反母趾・浮き趾による転倒予防に対する看護介入の効果	研究分担者	2021.4～2024.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）			認知症高齢者と家族の質の高い継続的な暮らしを目指した研修の社会実装と評価	研究分担者	2018.4～2023.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学Ⅳ		8	3年次生を対象に、医療機関と地域が継続して高齢者を支援することを学べるようにグループワークを支援した。
2	病態生理学 (大学院)		15	エビデンスに基づき対象の病態生理学的変化を解釈し、臨床看護判断を行うために必要な知識と技術について学習する科目において、受講者が自らの実践を振り返り、理解を深められるよう支援した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学Ⅱ		2	3年次生を対象に、認知症をもつ高齢者への日常生活援助方法の学習を目的として、講義、演習を行った。今年度は、動画教材を活用して、学生が主体的に取り組めるよう工夫した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学実習Ⅰ	○	2022.4～5	2年次生を対象に老人福祉センターでの実習を担当した。感染対策をとりながら、臨地での実習を行えるように工夫した。高齢者へのインタビューとインターネットを活用した地域に関する情報収集を実施した。
2	老年看護学実習Ⅱ		2022.10～12	3年次生を対象に、指扇療養病院での実習指導を担当した。感染対策をとりながら、学生が入院中の高齢者と関わり、主体的に実践できるように指導した。
3	総合実習 (老年看護学領域)		2022.7	4年次生を対象に、埼玉協同病院回復期リハビリテーション病棟での実習を担当した。学生の学習課題を踏まえて、臨地実習において入院中の高齢者や専門職との関わりから学びを深められるように指導した。
4	IPW実習		2022.10	実習施設とWEBでつなぎ、対象者の望む生活を支援するための多職種で協働した活動について学生が主体的に学べるように支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		主指導 4名	副指導 0名
2	修士論文		主指導 (指導教員) 0名	副指導 (指導補助教員) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	沖縄県看護協会感染管理認定看護師課程「チーム医療論」講義	2022.7	認定看護師課程で学ぶ受講生を対象に、講義を行った。チーム形成し、チーム活動を振り返る体験を通して学べるように工夫した。	
2	獨協医科大学認知症看護認定看護師課程「チーム医療論」講義	2022.10	認定看護師課程で学ぶ受講生を対象に、講義を行った。チーム形成し、チーム活動を振り返る体験を通して学べるように工夫した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	看護研究指導講師	越谷誠和病院	看護研究指導	2022.4～2023.3
2	看護研究講評	越谷誠和病院	看護研究発表に対する講評	2023.2
3	看護研究講評	埼玉県看護協会第7支部	看護研究発表に対する講評	2023.2
4	キャリア2講座「認知症看護」講師	埼玉協同病院	中堅看護職員対象の認知症看護講座	2022.7～8
5	埼玉県立大学IPW総合課程講師	埼玉県立大学	IPWの基礎 (5) IPWにおけるチーム活動とチーム形成	2022.8
6	公立大学の地域政策研究に関するワーキンググループシンポジウム-公立大学と地域政策のこれからを考える-シンポジスト	公立大学協会	埼玉県立大学における専門職連携教育 (IPE) と地域貢献	2023.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本老年看護学会	理事 (会計担当)		2022.6～2024.6
2	日本老年看護学会	役員選挙管理委員長		2021.6～2022.6

3	日本老年看護学会	編集委員会委員	2022.6~2024.6
4	日本老年看護学会	第28回学術集会企画委員	2022.1~2023.6
5	千葉看護学会	査読委員	2022.4~2024.3
6	日本保健医療福祉連携教育学会	査読委員	2023.2~2025.3
7	日本認知症ケア学会	代議員・学術誌査読者	2022.5~2026.5
8	公立大学協会	公立大学の地域政策研究に関するワーキング委員	2022.5~2023.5
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学生支援	1年生担任	2022.4~2023.3
2	学科等における委員会等	IPW実習科目責任者会	2022.4~2023.3
3	学科等における委員会等	カリキュラム検討	2022.4~2023.3
4	学科等における委員会等	JABNEプロジェクト	2022.4~2023.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		